

用語解説

用語	意味
カミングアウト	自らの意思で自分の性的指向や性自認を他者に伝えること。
アウトティング	性的指向や性自認などについて、他者が本人の了解なしに周囲の人に伝えること。
セクシュアリティ	性的指向や性自認などを含む、性のあり方全体を指す言葉。
性同一性障害	身体の性別と性自認のずれに苦悩する人に対して使われてきた診断名。2018年に世界保健機構(WHO)の国際疾病分類の精神疾患から除外された。
Xジェンダー	自らを男性、女性のどちらでもないと感じている人や、性別にとらわれず生きたい人。
シスジェンダー	生まれた時に割り当てられた性別と性自認が一致している人。
アセクシュアル	恋愛的感情の有無にかかわらず、他者に性的に惹かれることがない人。

相談窓口

◎ふくおか人権ホットライン
TEL 092-724-2644
毎月第4金曜日 15:00 ~ 18:00



ふくおか人権ホットライン

◎みんなの人権110番
TEL 0570-003-110
平日 8:30 ~ 17:15



みんなの人権110番



◎糸島市人権相談
TEL 092-322-1697

人権センター相談員による相談 月~土曜日 9:00 ~ 16:00
人権擁護委員による相談 毎週火曜日 13:00 ~ 16:00

多様な性を認めあえる社会へ

1 多様な性

性には人によってさまざまな形があります。男性や女性といった性別は、からだの「性」だけで示せるものではありません。次の4つの要素の組み合わせで「性」のあり方が決まると考えられています。

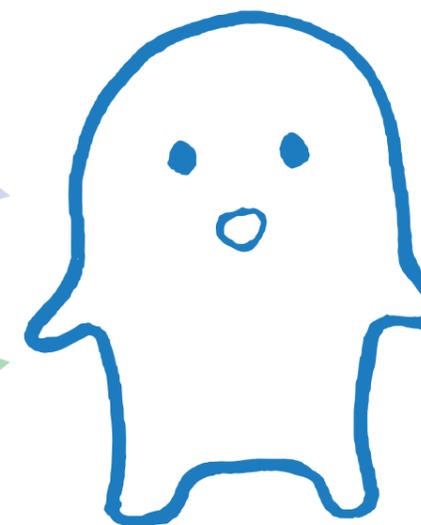
多様な性のあり方にかかわる4つの要素 (SOGIE)

好きになる性
(性的指向)
Sexual Orientation
どういった人を好きになるのか

こころの性
(性自認)
Gender Identity
自分の性別を自分でどう思うか

表現する性
(性表現)
Gender Expression
自分の性別を服装や言葉遣いなどでどう表現するか

からだの性
(身体の性)
Sex
身体の性別
戸籍上の性別



「SOGIE (ソジー)」と表記する目的は、誰を好きになるか、自分の性をどう思うか、自分の性をどう表現するかはその人の自由であり、誰もがもつ人権であるという考え方を示すためです。

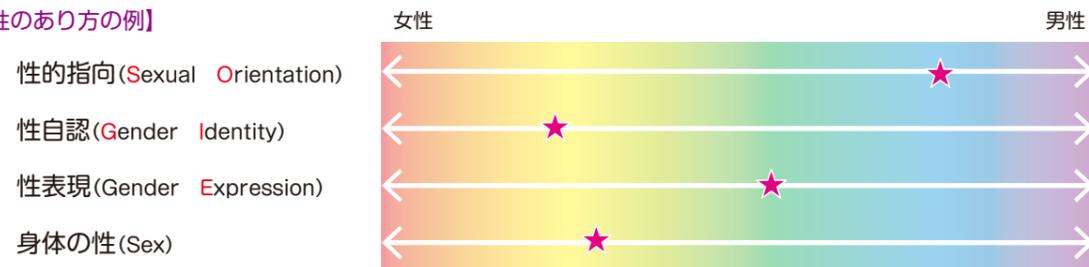
SOGIE (ソジー)とは誰もが持つ性の要素です。

2 性はグラデーション

性は、「男性」と「女性」の二つに単純に分けられるものではありません。

例えば、一人の人の性のあり方を下の図のように表したとき、★の位置は、人によって異なります。また、同じ人でも年齢により★の位置が変わることがあります。性のあり方はグラデーション※のように多様で、一人ひとり違った特徴をもっているのです。※グラデーション=色彩や濃淡が連続して変化していく状態

【性のあり方の例】



3 多様な性をあらわす言葉

からだの性とところの性が異なるなど、性のあり方が、少数派である人を性的少数者(性的マイノリティ)と呼びます。

性的少数者には、レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)などがあり、頭文字をとった性的少数者の総称の一つに「LGBT」や、その他の性のあり方を含めた「LGBTQ+」などの表現があります。

性のあり方を表す言葉はたくさんありますが、人の性のあり方はグラデーションのように多様で、これらの言葉ですべて表現できるものではありません。

多様な性をあらわす言葉

L

レズビアン

同性を好きになる女性

G

ゲイ

同性を好きになる男性

B

バイセクシュアル

異性を好きになることもあれば同性を好きになることもある人

T

トランスジェンダー

出生時割り当てられた性別と異なる性別を生きる人

Q

クエスチョニング

自分の性のあり方を決められないまたはわからない人

+

クエア

LGBTに当てはまらない全ての性的少数者

+

プラス

上記では表せない性のあり方

性的指向

性自認

その他

4 性的少数者のおかれている状況

日本における性的少数者は、全人口の約3%~10%※と考えられています。これは、血液型のAB型や、左利きの割合に近い数字です。

このように性的少数者は身近な存在であり、学校や職場、家族や友人などにもいるはずですが、なかなか存在が見えにくいのが現状です。それは、多くの当事者たちが、差別や偏見にさらされることを恐れて、性的少数者であることを秘匿して生活しているからです。特に、相手が自分にとって大切な存在であるほどカミングアウトしづらいと言われています。

※令和2年3月福岡県発行RAINBOWガイドブックより



5 アウティングは重大な人権侵害です

『アウティング』は、本人の性的指向や性自認について他者が本人の了解なしに周囲の人に伝えてしまうことです。アウティングにより、本人が居場所を奪われ、追い込まれることもあるので絶対にやめましょう。

『カミングアウト』は、本人が自らの意思で、性的指向や性自認について他人に伝えることです。カミングアウトされたら、その人の話をしっかり聞いて受け止めることが大切です。また、本人の同意なく打ち明けられた内容を勝手に他人に伝えてはいけません。

6 アライ (ALLY) になろう！

英語のAlly(同盟、支援者)が語源で、性的少数者のことを理解・支援し、行動する人、またはその意思がある人のことです。レインボーフラッグ(6色の虹の旗)を身に着けて自身がアライであることを表します。



7 福岡県パートナーシップ宣誓制度について

福岡県は令和4年4月1日から「福岡県パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。

この制度は、双方又は一方が性的少数者のカップルが、日常生活において相互に協力し合い、人生を共にすることを県に宣誓し、県が「パートナーシップ宣誓書受領証カード」を交付する制度です。この制度により、双方又は一方が性的少数者のカップルが、県営住宅への入居申込など、福岡県の行政サービスが受けられるようになります。



福岡県パートナーシップ宣誓制度

実現しよう！誰もが自分らしくありのままで生きられる社会